

災害のその瞬間を生きのびる 災害護身術「津波編」シナリオ

対象：小学生以上 所要時間：20～30分

1. 高いところに逃げるしか方法はない！

(1) 津波てんでんこ

- ・家に一人にいるときに地震にあったら、家族が帰ってくるのを待たずに一人で避難する
- ・外で地震があったときは、家に戻らずに一人で高いところへ逃げる
- ・家族で日頃から「それぞれが高いところに逃げる」と約束しておく

(2) 1mの津波でも

- ・1メートルの高さの津波に巻き込まれるとほぼ100%死んでしまう
- ・津波から逃れるには高いところに逃げるしか方法がない

(3) 正しい情報のもとに動け

- ・「津波は来ない」と根拠もなく言う人を信じて逃げ遅れるのが怖い
- ・津波の心配はないと確認できるまでは津波を来るものとして行動する



2. どうして逃げ遅れてしまったの？

(1) 自分が一番に避難する

- ・津波で亡くなった人の多くは逃げられなかったのではなく逃げなかった！
- ・「津波は来ない」「周りの人が逃げないから大丈夫」という思い込み
- ・自分が一番に避難することで、たくさんの命を救う人になれ



3. 津波避難の3原則 必要なもの ※紙芝居

(1) 釜石の軌跡

- ・紙芝居『釜石の軌跡』の読み聞かせ

(2) 津波から逃れるための避難の3原則

- ・想定にとらわれるな
- ・最善を尽くせ
- ・自分が一番に避難する

